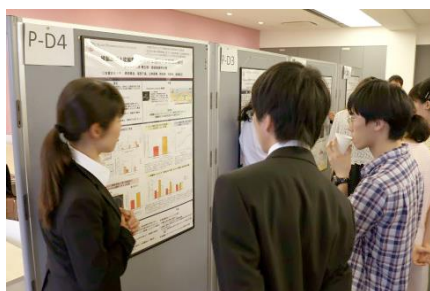


2015年度 戦略的研究基盤形成支援事業 合同成果発表会 実施報告書

2015年8月18日(火)13:30から京都薬科大学愛学館3階A31講義室(愛学ホール)において、文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されている「バイオメタルと生体反応の連関解明に基づく疾患治療ファルマコメタロミクス の確立(2012年度採択:バイオメタル)」および「生体内の微小環境情報に基づいた物性制御による環境応答型インテリジェントナノDDSの創成(2013年度採択:ナノDDS)」の合同成果発表会を開催した。



両プロジェクトには、本学から14分野、学外から5施設が参画しており、今回の合同成果発表会には、他大学(徳島大学、名古屋市立大学、神戸女子大学および姫路獨協大学)からの共同研究者も併せて196名(教育職員、事務職員、大学院生、学部学生)にご参加いただき、盛会となった。



各プロジェクトから代表者による3演題ずつの口頭発表を行った後、躬行館1階食堂に移動し、ポスター発表(26演題)を行った。口頭発表では、質問時間を超えるほど活発な質疑応答がなされ、またポスター発表では、学部学生・大学院生も交えて活発な討論が行われた。

今年度は、ナノDDSの中間評価の時期にあたるため、外部評価者として静岡県立大学の奥直人教授と大阪大学の中川晋作教授にお越しいただき、口頭発表およびポスター発表を聞いていただいた後、ご講評をいただくことができた。お二人の先生からは、本学の研究アクティビティーの高さを評価していただくとともに、「共同研究のさらなる活性化」と「基礎研究と臨床研究のバランスの重要性」をご指摘いただくことで、今後の我々の課題として取り組むべきものであることを、改めて認識させていただいた。



今年度、さらに2つのプロジェクトが採択されたことから、今後各プロジェクト間で情報交換を活発にするとともに刺激し合うことで互いのプロジェクトが推進されることを期待している。

2015年8月21日

小暮健太郎(ナノDDS)

安井弘之(バイオメタル)